

# IDN ccTLD fast trackに関する議論状況

ICANN報告会

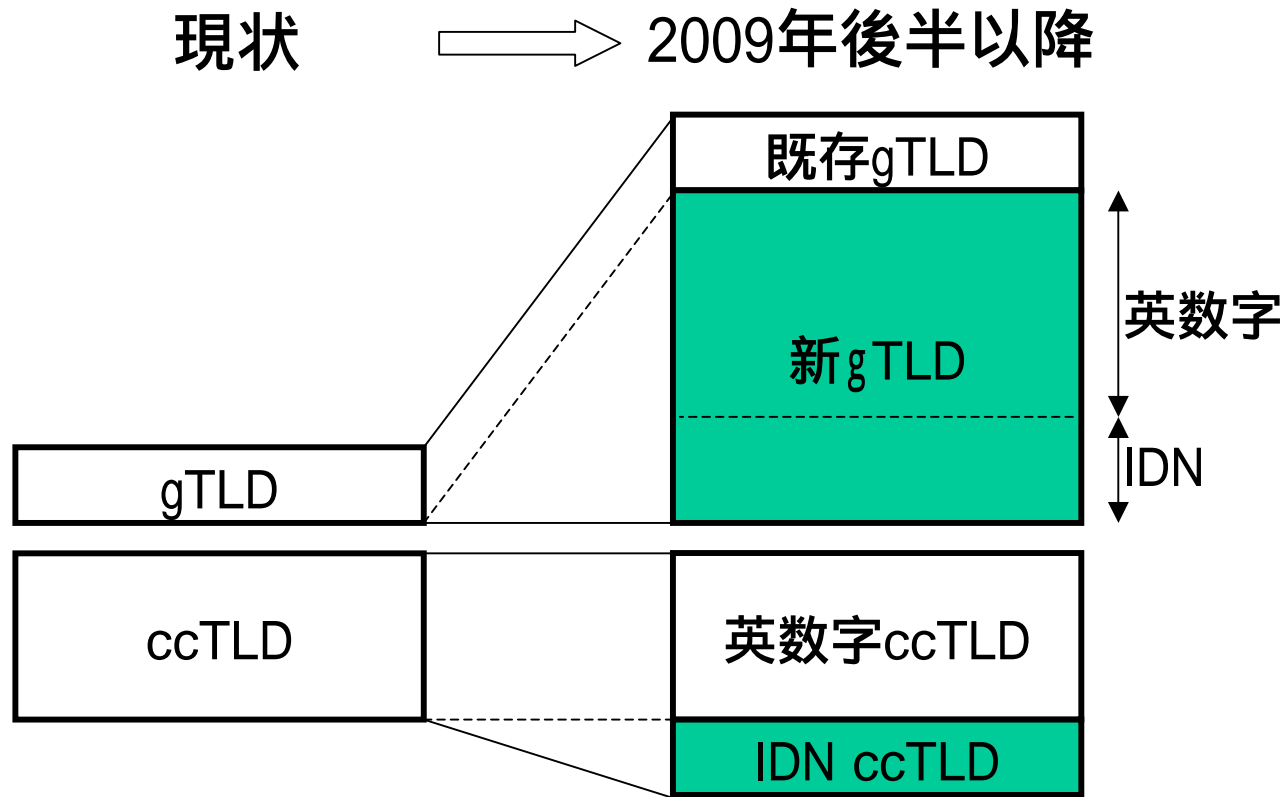
2008年12月11日

株式会社 日本レジストリサービス (JPRS)

堀田 博文

[hotta@jprs.co.jp](mailto:hotta@jprs.co.jp)

# 新TLD導入



IDN : internationalized domain name (国際化ドメイン名: 英数字以外を含むドメイン名)

# 新TLD導入のプロセス3種

## 1. 新gTLD創設プロセス

- 新gTLD創設に関するICANN GNSO勧告 (2007年8月)
- 具体的な導入プロセスをICANN事務局が検討・ガイドブック公開・パブコメ中

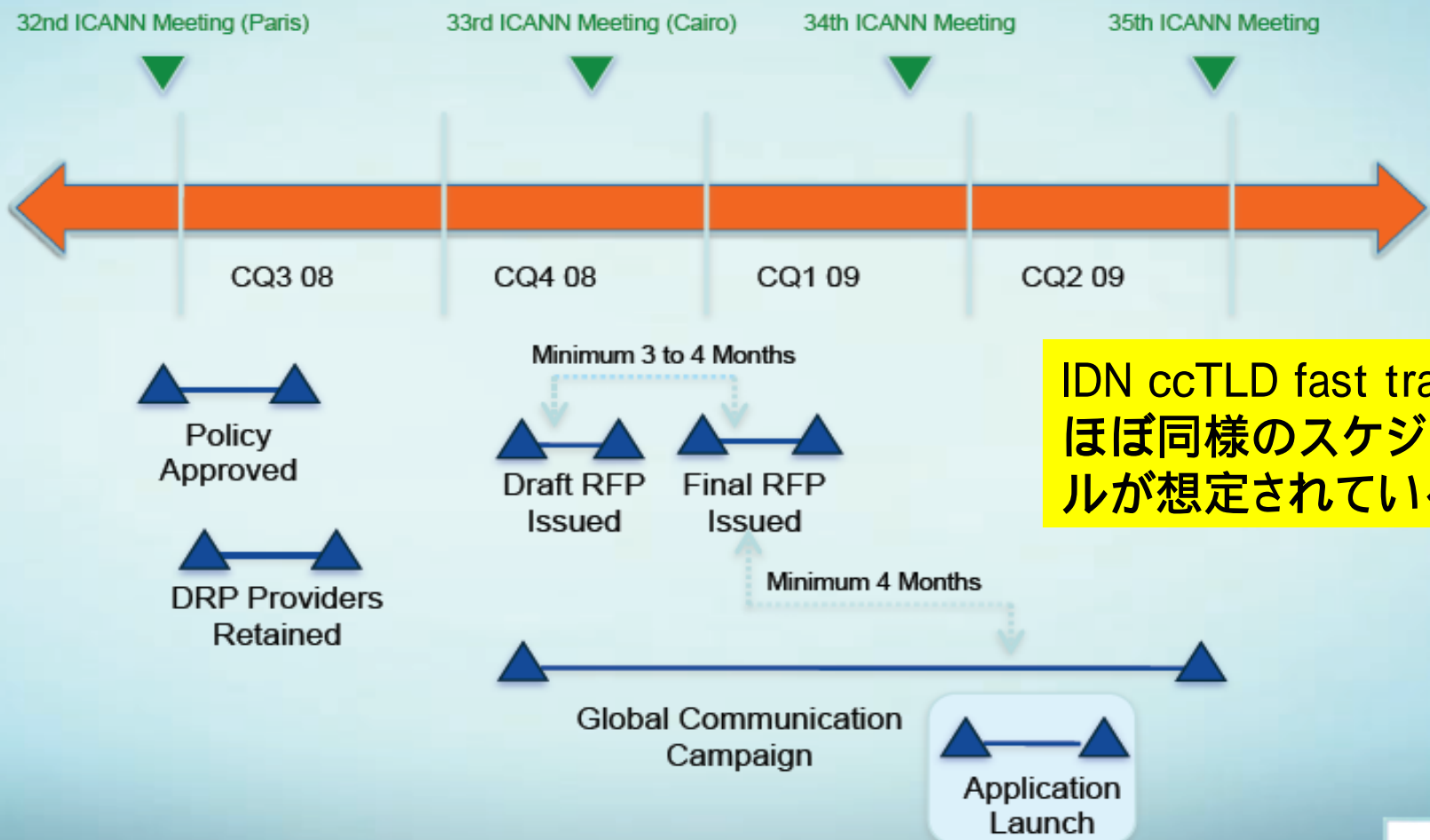
## 2. IDN ccTLD fast track

- 限定された個数の、問題ないIDN ccTLDを迅速に導入
- このための作業部会がICANN 理事会に導入方法を提案(2008年6月)
- 具体的な導入プロセスをICANN事務局が検討・実行計画案公開・パブコメ中

## 3. IDN ccTLDの恒久的ポリシーに基づく創設プロセス

- 課題の洗い出し (2008年3月頭)
- 課題に対し解決策の検討開始
- 創設開始は数年後？

# 新gTLD創設のスケジュール (2008年6月時点のICANNの案) (2008年11月のICANNカイロ会合でも特に変更の言及はなかった)



IDN ccTLD fast trackも  
ほぼ同様のスケジュール  
が想定されている



出典: ICANNパリ会合



## アンケート (RFI ; Request For Information)

- ICANNが全ての国/地域にアンケート(RFI)を送付して、IDN ccTLDに関して以下の情報を収集し、その情報をICANNが公開
  - その国/地域がfast trackに参加する意思があるか
  - 選択する言語/スクリプトおよび文字列
- アンケート中間結果
  - 252のccTLDに対応する国や地域に問合せ
  - そのうち58が返事
  - そのうち32がfast trackでIDN ccTLD導入を考えていると返事 (含: 日本)

# 各国におけるIDN ccTLD導入までのステップ

(ICANNによる現提案内容)

## 1. 国内調整(政府中心)

- ccTLD文字列選定
- レジストリ選定
- 文字列とレジストリに対するエンドースを政府が文書化

日本では、このための総務省の委員会が始まった(11月10日)

[http://www.soumu.go.jp/joho\\_tsusin/policyreports/joho\\_tsusin/joho\\_bukai/081110\\_2.html](http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/policyreports/joho_tsusin/joho_bukai/081110_2.html)

## 2. 資格評価(ICANNが実施)

- ICANN技術パネルが、TLD文字列に問題がないことを確認
- TLD文字列を公開 (多様な目で問題ないこと再確認)

## 3. 委任(delegation)

- レジストリが委任申請
- ICANNが委任

## 2008年6月のIDNC WG勧告

- 作業部会 (WG)にて、IDN ccTLDのfast trackについて検討し、勧告としてまとめる
- 2008年6月、ICANN理事会は、その勧告に基づき、実行計画を作ることをICANN事務局に指示する
- 2008年10月23日に、その中間報告があり、実行計画の検討状況が公開される

<http://www.icann.org/en/topics/idn/fast-track/idn-cctld-implementation-plan-23oct08-en.pdf>

- 2008年11月11月26日に、7つのmoduleからなる実行計画のドラフトが公開される

<http://www.icann.org/en/topics/idn/fast-track/idn-cctld-implementation-plan-26nov08-en.pdf>

– 次ページ以降に、概要を示す

- module 1 経緯
- module 2 参加資格要件
  - ISO3166-1に対応した国または地域(以後、「国」という)であること
  - レジストリが申請する際には、その国内でのサポートがあることの証憑を提供すること



- module 3 TLD文字列要件

公用語 (法律上 or 行政実務上)

ラテンベースのスキript以外(a ~ zやそれに飾りが付いた文字はダメ)

その国の公式名の有意な表現であること(公式名、公式名の一部、公式名の短縮形)

国毎に、1言語もしくは1スキript毎に、1つのTLDを申請可

TLD文字列がIDNA2008の技術要件に従うこと

- AラベルがASCIIドメインラベルの技術要件(63文字以下のLDH等)に従う
- UnicodeのコードポイントのうちIDNAでvalidと定義されているもののみが使われている
- 右から書く文字と左から書く文字が混じっていない
- 先頭末尾は数字ではない
- 異なるスキriptが混じっていない (例外あり)
- 定義されている言語テーブルに沿っている

LDH : Letter Digit Hyphen

- module 4 技術委員会検討事項

次のような技術的な審査を行なう

- 関連する標準に従っている
- DNS全体のスループットや応答時間、応答内容に問題がない

- module 5 fast track申請・評価プロセス

### 準備段階

- 言語とスクリプトを決める
- 文字列(国名)を決める
- 言語テーブルを定義する

文字列が国名として適切であることと、レジストリ運営者が適切であることに対し、国内にサポートがあるということを文書化する

申請はいつでも可 (恒久的ポリシーが完成するまでは)

### 申請・評価段階

- 申請受理のための形式チェック
- 文字列の適切さチェック

### 公表

### 委任処理段階

通常のIANA委任プロセスと同様

ICANN理事会での承認後、委任フェーズに移る

- module 6 委任プロセス

IDN ccTLDに関するIANA機能をほぼそのまま踏襲

レジストリに関し、RFC1591、ICP-1、GAC原則が守られていることをチェック

- TLD運用技術がある
- DNSへの24時間IPコネクティビティと運用者への電子メールコネクティビティがある
- 技術力高く登録管理とDNS運用を実施する
- その国内で管理および運用を行なう
- 管理者(administrative contact)が国内に居る
- ドメイン名申請者に対し公平である
- TLD運用に必要な権限を持つ
- 委任にふさわしいオペレータであると重要な関係者たちが合意している

上記IANAレビューの後、ICANNによる適切さレビューが実施される  
その後、米国商務省が最終的なDNSゾーン内容のレビューをする

- module 7 残存検討事項

- (1) ICANNとの契約

- IDN ccTLDになると、今まで以上にセキュリティ、安定性、障害回復性への留意が必要で、それを継続的に担保する仕組みが必要

- (2) ICANNへの支払い

- (3) ccNSOへの参加

- (4) 他TLDとの同一/類似性解決方法

- たとえば、ほぼ同時に申請されたIDN ccTLDと新gTLDが同一/類似であったときどうするか

- (5) 同一言語/スクリプトに対して、2つ以上のccTLDから異なるIDテーブルが登録されたとき、起こりうる利用者の混乱にどう対応するか

- (6) 12ヶ月毎にfast trackプロセスのレビューを行なう